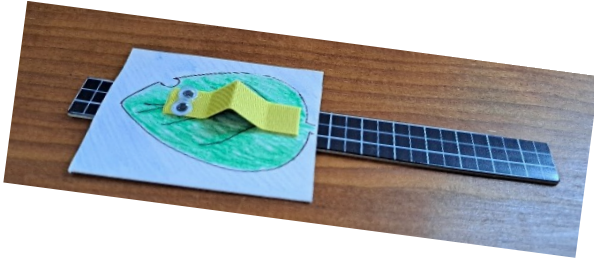


# 「アオムシくん」をつくろう



埼玉県 吉野幸子

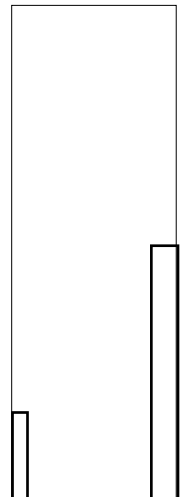
2023.8.6

シート磁石のN極とS極は、シマシマ模様になっています。そのため向き合わせて貼りつけたものを左右に引っ張ると、パタパタと面白い動きをします。その原理を使ったおもちゃに「パタリン蝶」(ものづくりハンドブック3)や「パタリン魚」(ものづくりハンドブック9)というのがあります。

今回紹介するのは、動く仕組みは同じでも、動きが全く違っておもしろい「アオムシくん」です。『たのしい授業』No.540 2023年2月号 の田岡道吉さんの「アオムシくん」という記事を参考にしました。

## ◆材料◆

- ・粘着付シート状ゴム磁石 (ダイソーマグネットシート No.96)
  - 大：1.5×15cm 1本
  - 小：1×5cm 1本 (1×4cmでもOK)
  - ※大小の長辺が同じ向きになるようカットする (右図)
- ・台紙用厚紙：約7×10cm 1枚  
(画用紙または厚手のケント紙)
- ・工作用紙 1.5×15cm 1枚
- ・リボンまたは折り紙 (巾12mm)  
(HEIKO キャピタルリボンがおススメ)
- ・両面テープ
- ・動眼または○シール
- ・木工用ボンド



## ◆作り方◆

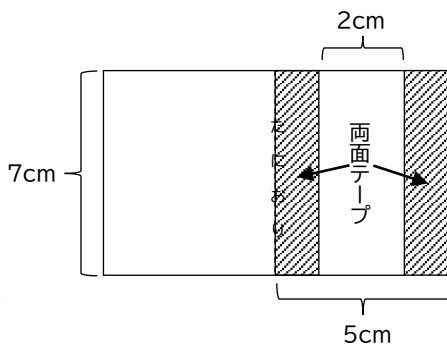
### 土台をつくる

①台紙用厚紙を二つ折りにして  
両面テープで貼りあわせる。

※サイズは目安。

接着しない部分2cmはキープ。

②ゴム磁石大を工作用紙に貼りつける。  
(貼った方が強度が出て動かしやすい)



### アオムシくんをつくる

①1×5cmのゴム磁石を1×1cmの大きさに切り分ける。

②リボン(折り紙)に、ゴム磁石を1~1.5mm間をあけて貼る。

余ったリボンはカットする。

※切る前に1マスごとに「1・2・3・4・5」とマジックで  
番号を書いておき、順番に貼ると動きが良い。

③お尻側のゴム磁石1枚に両面テープを貼る。

④動眼(または○シール)を貼る。

⑤磁石と磁石の間に折り目をつけるように、アオムシくんを上下に曲げる。

⑥アオムシくんのお尻の両面テープをはがし、土台の真ん中に貼る。



## ◆遊び方◆

磁石の面が上になるようにしてシート磁石大を土台のすき間にさしこみ、  
前後に動かす。

ゆっくり動かしたり早く動かししたりして動きを楽しみましょう。

動きが悪い時は、アオムシくんの折り目をしっかりつけ直しましょう。

土台に絵を描いておいたり、葉っぱの形に切った画用紙を貼りつけたりし  
ても楽しいです。